

ウイズコロナ

—新たな社会の見取り図

長崎大学熱帯医学研究所教授
山本 太郎

- * 大学卒業後に歩んできた道
- * 内外で緊急支援活動に参加
- * 現在、研究に取り組む4つのテーマ
- * 新型コロナウイルスとSARSの違い
- * 新型コロナウイルスは根絶できない
- * 集団免疫獲得への各国の対応
- * 新しいウイルス理解とは何か
- * ウイルスは倒すべき相手ではない
- * 感染症の多発が意味するもの
- * ウイズコロナ、アフターコロナを考える



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

本日は長崎大学の山本先生においでいただき
ました。コロナ感染症についてはまだ皆さんに
お話を聞いていただいております。専門家の
方はたくさんおられますが、本日は歴史的に見
てコロナウイルスというものがどういう位置づ
けになるのか、感染症とはどういうふうに見え
たらいいのか、社会的な影響も含めて幅広く物
を見るところで山本先生にお願いいたしま
した。岩波新書等でも感染症の本をお書きにな
っておられます。先生はJICAでジンバブエ
に1年半ほどおられたこともありますし、外務
省の国際協力局におられたこともあります。そ
れから、ハーバードで研究員生活をされて、海
外でたいへん活動されておられます。そういっ

た幅広い目でコロナをどう考えたらいいか、じ
つくりお話を伺いしたいと思えます。それで
は先生、よろしくお願いいたします。（拍手）

大学卒業後に歩んできた道

山本 ご紹介ありがとうございます。長崎
大学熱帯医学研究所の山本です。

今日はコロナを迎えた今、私たちはどんな世
界にいて、今後どんな社会が来るのだろうとい
うことを少しお話できればと考えています。
1時間10分ぐらいでお話をしたいと思います
が、まず簡単な自己紹介をさせていただきます。
それはどうして今日ここで私が話をしているの
か、どんなバックグラウンドでそういうことを
考えているのかをご理解いただきたいと思いますか